



# MICA 通信 Vol.169



会員の皆さま、ボランティアの皆さま、寒くなりましたがお元気でしょうか。今年もあと数日で終わろうとしています。今年は何があったかなあ・・・とつらつら思い出してみると、昨年に引き続き、北海道大地震、西日本豪雨など大型災害がまたも日本を襲いました。復旧は相変わらず遅く、いまだに仮設住宅の人が大勢おられます。北海道はそろそろ本格的な雪になったようで、皆さんの生活や健康が心配です。忘れられた存在の福島の仮設住宅入居者、豪雨の後始末、遅々として進んでいないようです。

海外への抛出金も必要でしょうが日本の国民の生活基盤が安定したうえで出してほしいと思います。政府は「国民の安全と財産を守る」を常にお題目としていますが(早口で気持ちのこもっていない)、きっちり速やかに言葉通り実行をしてほしいと切実に思います。北海道の皆さん、及び各被災地に心よりエールを送ります。2018年も大変お世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。



## 今,MICAは



### ★・・・★・・・実習生の実態・・・★・・・★

先月から実習生の失踪に伴っての実習生就労の実態が明るみに出てくるようになりました。しかしながら、MICAには以前からこのような労働に関する相談がありました。やはり低賃金・残業代未払い、契約とは違う職種の派遣など、まさに今メディアや国会で問題になっている相談です。MICAの事務所はシェアデスクなので、中にユニオンの団体も入っています。ですから今までそのような労働問題は同居のユニオンの方にお問い合わせしてきました

結果としては90%の解決をしています。またその都度入管や派遣先企業に問題提起をして改善へのお願いをしてきましたが、口先だけの謝罪で終わり、くやしい思いも多々ありました。今回実習生が集団で声を上げたことにより、実習生の労働に対する見直しがされるのではないかと期待できます。相談会にも実習生が来ていますが、みんなにこにこした良い笑顔の一生懸命の人たちばかりです。彼らの働く意欲を押しつぶすような今の施策はもういい加減にし、同等の労働者として共生するべき時が来たのではないかと思います。